

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2006-94899 (P2006-94899A)
 【公開日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-015
 【出願番号】特願 2004-281220 (P2004-281220)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 24 日 (2007.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段により制御された遊技状態に応じて、遊技に関連する視覚情報を遊技機外へ投射する遊技機であって、

前記遊技機は、前記遊技制御手段から供給される演出制御信号に基づいて視覚情報を表示する視覚情報表示手段を有し、

該視覚情報表示手段は、予め視覚情報が担持された透過面とする透過媒体と、

該透過媒体へ向けて光を投射する光源と、

前記透過媒体を透過した光を、遊技機外部の被投射体に結像させる結像手段とを有することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

透過媒体は、透光部と、遮光部とを有するフィルムである請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記視覚情報表示手段は、前記透過媒体を複数有し、演出制御信号に応じて、前記透過媒体を切り替える切替手段を有する請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記被投射体は、遊技者である請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記被投射体は、床又は天井である請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

以上のような問題を解決する本発明は、以下のような構成を有する。

(1) 遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段により制御された遊技状態に応じて、遊技に関連する視覚情報を遊技

機外へ投射する遊技機であって、

前記遊技機は、前記遊技制御手段から供給される演出制御信号に基づいて視覚情報を表示する視覚情報表示手段を有し、

該視覚情報表示手段は、予め視覚情報が担持された透過面とする透過媒体と、

該透過媒体へ向けて光を投射する光源と、

前記透過媒体を透過した光を、遊技機外部の被投射体に結像させる結像手段とを有することを特徴とする遊技機。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(4) 前記被投射体は、遊技者である上記(1)～(3)のいずれか1に記載の遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(5) 前記被投射体は、床又は天井である上記(1)～(3)のいずれか1に記載の遊技機。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項4に記載の発明によると、被投射体を遊技者とすることによって、遊技者自身が演出の中に組み込まれることとなり、従来と全く異なる演出感覚を得ることができる。

請求項5に記載の発明によると、被投射体を、遊技機が設置されている遊技場の床又は天井とすることによって、表示領域が広がり演出効果を向上させることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

図6に示されているように、投射光が被投射体の表面に投射されると、その投射光が投射され得る領域である表示面60に、フィルム53に担持された視覚情報(大当り)61が結像する。この像を動画にする場合には、連続して変化する像が、それぞれ表示されているフィルムを多数用意し、これらのフィルムを連続して光源52の前に移動させることにより、表示面60の像を動画とすることができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

結像の大きさは、光学的に拡大できるので、フィルム 5 3 a ~ 5 3 c の大きさは、小型にすることが可能となり、遊技機内に容易に格納させることができる。また、結像手段に加えて、結像される象を拡大又は縮小するズーム機構を設け、被投射体に応じて、像の大きさを変更する構成としてもよい。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

【図 1】本スロットマシンの外部構造を示した全体正面図である。

【図 2】貸出操作表示部の構成を示す部分拡大斜視図である。

【図 3】本スロットマシンの内部構造を示した全体正面図である。

【図 4】投射表示装置の構成を示す模式図である。

【図 5】透過媒体であるフィルムの構成を示す平面図である。

【図 6】被投射体に画像が投射された状態を示す斜視図である。

【図 7】本スロットマシンに設けられている制御システムの構成を示したブロック図である。

【図 8】投影表示装置の表示制御回路の構成を示すブロック図である。